

第5回日韓特殊教育セミナー - の開催

平成17年1月27日(木)、当研究所において、第5回日韓特殊教育セミナー - が開催された。本セミナー - は、独立行政法人国立特殊教育総合研究所(NISE)と韓国国立特殊教育学院(KISE)が1995年11月に研究協力協定を結んだことに基づき、毎年開催されているものである。今回は、韓国から、国立特殊教育学院院長・金容郁氏、同院教育研究士/情報技術部門長・金鍾武氏及び慶南恵林学校教諭・金基榮氏の3名をお迎えし、「日韓の特殊教育情報化の現状と今後の方向」をテーマに発表が行われた。

27日のセミナー - 当日は、3つのサブテーマについて、日韓それぞれの発表と質疑応答で構成された。まずテーマ1として、「日韓の特殊教育情報化政策の方向性」(主に教育制度等政策的な内容)について日本側発表者：中村均 教育研修情報部総合研究官及び韓国側発表者：金容郁 国立特殊教育学院院長の発表が行われた。次にテーマ2として、「特殊教育情報化におけるNISE/KISEの役割と機能」について、日本側発表者：渡邊章 教育研修情報部総括主任研究官及び韓国側発表者：金鍾武 国立特殊教育学院教育研究士/情報技術部門長の発表が行われた。最後にテーマ3として「特殊教育現場における情報手段活用(Assistive Technology)」について、日本側発表者：大杉成喜 教育研修情報部主任研究官及び韓国側発表者：金基榮 慶南恵林学校教諭の発表が行われた。当日は、当研究所職員、筑波大学附属久里浜養護学校教諭を始め、外部からの参加者を含め30名近い参加者があった。

今回は、27日のセミナー - 当日前に、当研究所及び隣接する筑波大学附属久里浜養護学校を始め、光明養護学校(東京都)、横浜市立盲学校といずれも今回のセミナー - のテーマにふさわしい取り組みがなされている学校見学を取り入れたことにより、セミナー - 当日もより活発な議論が交わされた。今回のセミナー - は、それぞれの発表を通し、特殊教育情報化におけるお互いの現状を正確に把握することによって、より具体的で強固な協力体制を敷いていく土台となった。



開会の挨拶をする細村理事長

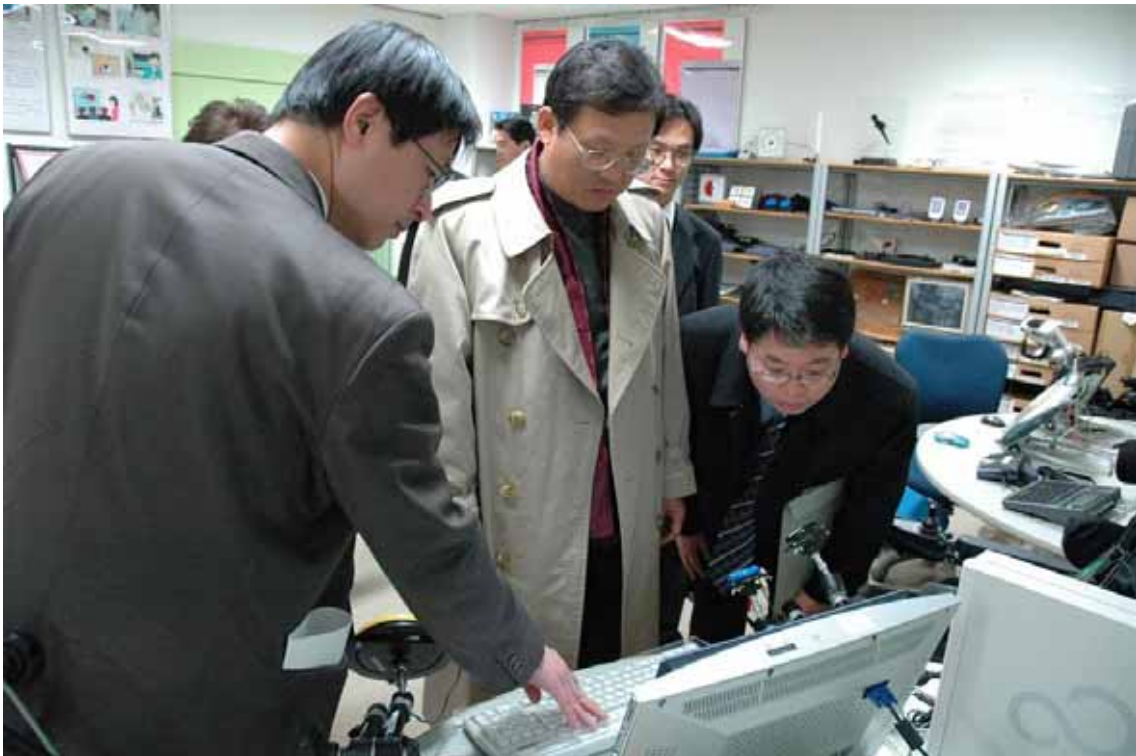


テ - マ1について発表をされる金容郁韓国国立特殊教育院長



韓国からの参加者及び研究所職員

(前列：左から千田総合研究官、中村総合研究官、細村理事長、金容郁韓国国立特殊教育
院長、金鍾武韓国国立特殊教育院教育研究士 / I T 部門長、金基榮慶南惠林學校教諭
後列：筑波大学附属久里浜養護学校職員と研究所職員)



i ライブラリ - の見学をする韓国からの参加者